

2023 年度 市民自然観察会「街中ジオ散歩」のご案内

札幌の街は、母なる川豊平川の1万年以上前からの営みによりできた大地（豊平川扇状地）に位置しています。「街中ジオ散歩」では、市民の皆さんとともに豊平川扇状地を作った古い河川「サッポロ川」の痕跡をたどり、札幌の生い立ちを探ります。

今年は以下の要領で3回開催します。

皆さんの参加をお待ちしています。

各回とも、集合は午前10時、解散は午後3時。

定員：20名（申し込み順）、昼食・飲物持参。

小雨時は実施します。

小雨の場合は、傘・雨靴・敷物などを用意してください。

中止の場合は、当日午前7～8時に電話で連絡します。

参加費：各回2,000円（会員は1,000円、保険代・資料代を含む）

申し込み先：北海道自然保護協会 事務所（電話 011-876-8546、メール info@nc-hokkaido.or.jp）、氏名・年齢・性別・住所・連絡先を添えて、お申し込みください。参加申し込みは、各回実施日の1か月前から受け付けます。

問い合わせ・連絡先：宮坂省吾（メール galant@cronos.ocn.ne.jp、携帯 090-3892-3293）

コロナ感染対策に留意すること。当日朝は体温をチェックしてください。

第1回街中ジオ散歩「三角山」 6月10日（土）に行いました

第2回街中ジオ散歩「中島公園」 8月5日（土）に行いました

第3回 街中ジオ散歩「伏籠川上流」

日 時：10月7日（土） 10時～15時

案内人：〈川の案内人〉 宮坂省吾（株式会社アイピー 地質情報室）

〈樹の案内人〉 矢部和夫（札幌市立大学 名誉教授）

〈石の案内人〉 内山幸二（山の手博物館 館長）

内 容：フシコ川は西暦 1800 年頃まで流れていたサッポロ川の名残川です。サッポロ川を利用した用水「大友堀」の川跡とフシコ川への落し口（大友公園）を訪ねます。そこからサッポロ川を上流に向かい、法国寺前と対岸にある北13条北郷通沿いの河岸跡、苗穂小学校から大覚寺までの河川低地を歩きます。フシコ川東分流の東岸にあったと思われるアイヌの墓、ツイシカリ・アイヌが住んでいたフシコ川北岸がわずかな高地（かつての自然堤防）となっていることを確認します。札幌市の保存樹となっている大覚寺のヤチダモ・イチョウ・シダレヤナギも観察します。

見学コース（予定）

集合：地下鉄東豊線 環状通東駅 2番出入口、10時

〈午前の部 (10:00~12:00)〉

- ① 「大友堀」の川跡とフシコ川への落とし口(大友公園) ⇒ ② 法国寺前の坂 ⇒ ③ フシコ川沿いの河岸跡 ⇒ ④ 苗穂小学校から大覚寺までの河川低地 ⇒ ⑤ フシコ川東分流東岸のアイヌの墓 ⇒ サッポロビール園(昼休み)

〈午後の部 (13:00~15:00)〉

- ⑥ サッポロビール園 ⇒ ⑦ 北8条7丁目のフシコ川の跡 ⇒ ⑧ ツイシカリ・アイヌが住んでいたフシコ川北岸の微高地

解散：地下鉄東豊線 東区役所前駅、15時



★:集合場所 環状通東駅 ●:解散場所 東区役所前 青線:大友堀 水色線:フシコ川